

事業所名

スマートキッズプラス新大阪南(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025年

1月

10日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 			
営業時間		11時0分	から	20時0分	まで
		送迎実施の有無		あり	なし
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題		スマートキッズとして他機関との関わりや生活場面での対応の練習(課外活動) 清潔への理解と習慣のための清掃活動(ロッカーやカバンの中の整理等) 健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動	
	運動・感覚	指導員の動きや他者の行動の理解と模倣(指・身体の動き)の課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ボール・縄跳びなど)の課題		指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)	
	認知・行動	時計や数量についての理解に関わる課題 色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等) 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれだ?等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)	
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等)	
	人間関係・社会性	自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 他者と自分の関係性や距離感の理解のための活動(パーソナルスペース、プライベートゾーン)	
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 送迎時やオンラインでの面談を通しきょうだいへの関わりや、保護者のきょうだいへの関わりについて相談する時間を定期的に設定する。		移行支援	
地域支援・地域連携		各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。 他事業所での支援の様子を確認し、目標のレベル感の調整と統一を行うことで、日常生活に活かしていく。		職員の質の向上	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、調理活動(フルーツポンチ、サンドウィッチ)、保護者参観、その他			
				当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支えり組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。	
				経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	